

第8期吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）にかかる高齢者等実態調査概要（案）

1 目的

第8期吹田健やか年輪プラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定に当たり、高齢者の実態を把握し、高齢者の保健・福祉・生きがいづくりへの支援や介護予防事業、介護保険サービスの総合的な推進を図るための基礎資料を得る。

2 調査対象

- (1) 高齢者調査 65歳以上の非認定者、基本チェックリスト該当者、要支援1・2の高齢者
 - (2) 要介護認定者調査 65歳以上の要介護認定者及びその主な介護者
- ※ 市内全域から各対象者を無作為抽出。(1)(2)それぞれ2,000人を想定

3 調査時期

令和2年2月下旬

4 調査方法

- (1) 調査票の送付（メール便による）及び回収（受取人払封筒による）
- (2) お礼状兼督促状の送付

5 調査業務委託

公募型プロポーザルにより調査及び計画策定支援業務の委託先を決定

6 調査項目

(1) 高齢者調査

- ア 国の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（必須・オプション）
からだを動かすこと / 食べること / 毎日の生活 / 地域での活動 / たすけあい / 健康
- イ 市独自設問

(2) 要介護認定者調査

- ア 国の在宅介護実態調査（本人・オプション）
介護保険サービスの利用実態 / 介護保険サービス以外の利用実態
家族介護の状況 / 介護者の就労実態及び介護離職防止のための施策
- イ 市独自設問 ※国の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のうち要介護認定者にも必要と考え調査項目とした設問を含む。

7 国の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムである「地域包括ケア「見える化」システム」、にデータ提供し、他自治体との比較分析を行う。